

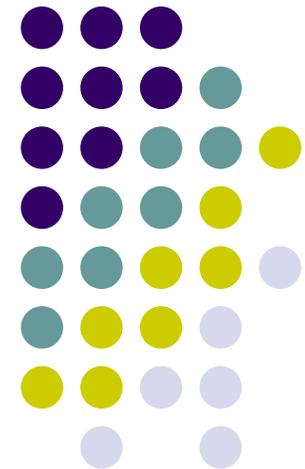
# 平成25年3月期決算説明資料

---

大村紙業株式会社

大阪証券取引所

JASDAQ(スタンダード):3953





# 目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……8
- 今後の見通し ……9
- 売上高および経常利益の見通し ……10
- 品種別売上高の見通し ……11
- 免責事項 ……12

# 会社概要



- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本社所在地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代表者 : 大村日出雄
- 設立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資本金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事業内容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売  
ラベル製品の製造販売  
副資材商品の販売  
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部 : 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・仙台・  
京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉
- 営業所 : 会津・レーベル湘南
- 研究所 : 包装設計デザイン研究所



# 事業の状況

- 当事業年度におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要に下支えられ、また年末に政権交代があり、円安、株高の進行に連れて景気回復の兆しがみられました。しかしながら、経済動向は欧州の債務問題や新興国の景気減速等により、依然として不透明な状況が続きました。
- 当業界におきましては、平成24年度全国段ボール生産量は前期比99.8%となりました。また、原紙価格の値下げがありましたが、段ボール価格に大きな変動もなく推移しました。
- 生産量につきましては、段ボールシート58百万㎡(前期比2.1%減)、段ボールケース39百万㎡(前期比4.8%減)となりました。
- 売上高は5,023百万円(前期比0.0%増)となりました。利益面におきましては、徹底した経費削減及び管理により、経常利益429百万円(前期比2.1%増)となり、繰延税金資産の取崩しにより、当期純利益102百万円(前期比45.5%減)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は大阪証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

# 業績概要①



売上高:前期比0.0%増 経常利益:前期比2.1%増 当期純利益:前期比45.5%減

(単位:百万円)

|                 | 当期<br>(平成25年3月期) | 前期<br>(平成24年3月期) | 前期比率   |
|-----------------|------------------|------------------|--------|
| 売上高             | 5,023            | 5,022            | 0.0%   |
| 営業利益            | 419              | 408              | 2.6%   |
| 経常利益            | 429              | 420              | 2.1%   |
| 当期純利益           | 102              | 187              | -45.5% |
| 1株当たり当期純利益金額(円) | 21.24            | 38.96            |        |

## 業績概要②



流動資産は主に現金及び預金が増加し、自己資本比率68.4%となりました。

(単位: 千円)

| 資産の部     | 当期末<br>(平成25年3月末) | 前期末<br>(平成24年3月末) |
|----------|-------------------|-------------------|
| 流動資産     | 4,205,832         | 3,943,726         |
| 現金及び預金   | 2,664,791         | 2,237,391         |
| 受取手形     | 475,679           | 487,358           |
| 売掛金      | 691,098           | 793,615           |
| たな卸資産    | 310,873           | 363,567           |
| その他流動資産  | 63,390            | 61,793            |
| 固定資産     | 2,228,652         | 2,388,418         |
| 有形固定資産   | 1,976,967         | 2,007,693         |
| 無形固定資産   | 12,532            | 15,160            |
| 投資その他の資産 | 239,153           | 365,564           |
| 資産合計     | 6,434,485         | 6,332,144         |

(単位: 千円)

| 負債・純資産の部  | 当期末<br>(平成25年3月末) | 前期末<br>(平成24年3月末) |
|-----------|-------------------|-------------------|
| 流動負債      | 1,432,119         | 1,406,922         |
| 支払手形      | 833,698           | 952,795           |
| 買掛金       | 234,124           | 165,876           |
| 未払法人税等    | 116,028           | 60,329            |
| その他の流動負債  | 248,268           | 227,920           |
| 固定負債      | 603,710           | 582,449           |
| 退職給付引当金   | 213,571           | 201,585           |
| 役員退職慰労引当金 | 373,238           | 363,963           |
| その他       | 16,900            | 16,900            |
| 負債合計      | 2,035,829         | 1,989,371         |
| 純資産合計     | 4,398,655         | 4,342,773         |
| 負債・純資産合計  | 6,434,485         | 6,332,144         |



## 業績概要③

(単位:千円)

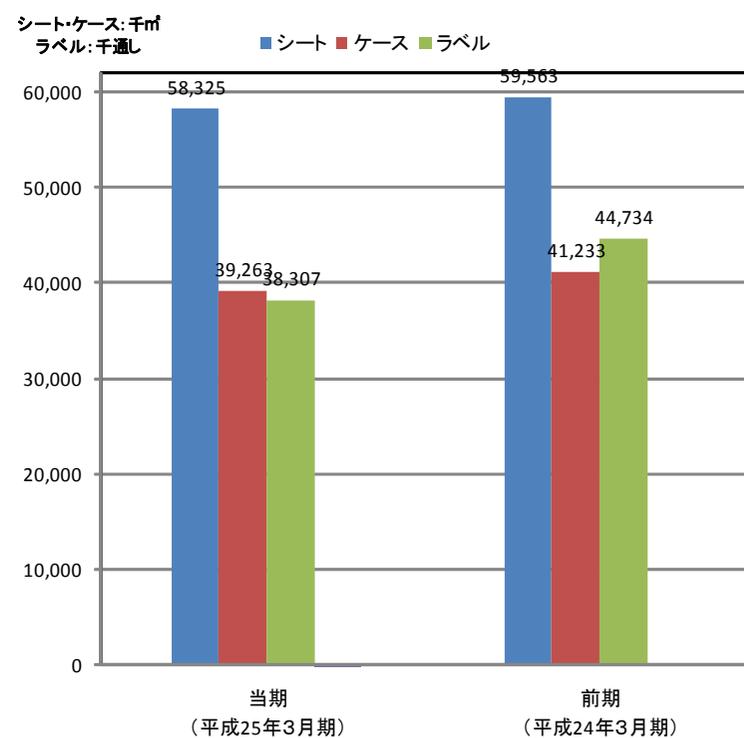
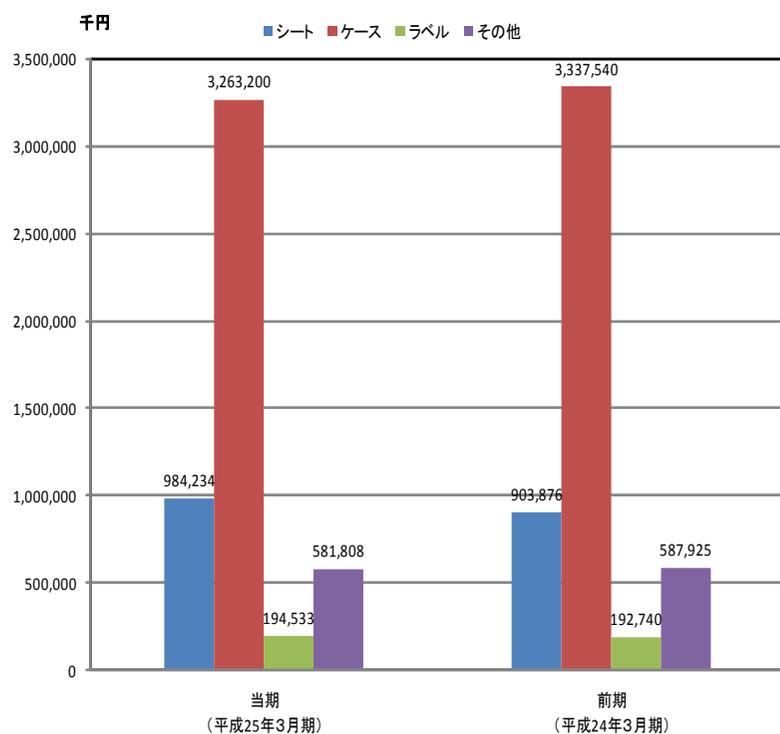
|                      | 当期<br>(平成25年3月期) | 前期<br>(平成24年3月期) |
|----------------------|------------------|------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 564,832          | 121,828          |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲ 89,239         | ▲ 99,757         |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | ▲ 48,201         | ▲ 72,162         |
| 増減額(減少:▲)            | 427,390          | ▲ 50,091         |
| 現金及び現金同等物の<br>期首残高   | 2,208,173        | 2,258,265        |
| 現金及び現金同等物の<br>期末残高   | 2,635,564        | 2,208,173        |



# 品種別売上高及び生産実績

シート・ラベルは売上増加となり、ケース・その他は売上減少となりました。

シート・ケース・ラベルは生産減少となりました。



# 今後の見通し

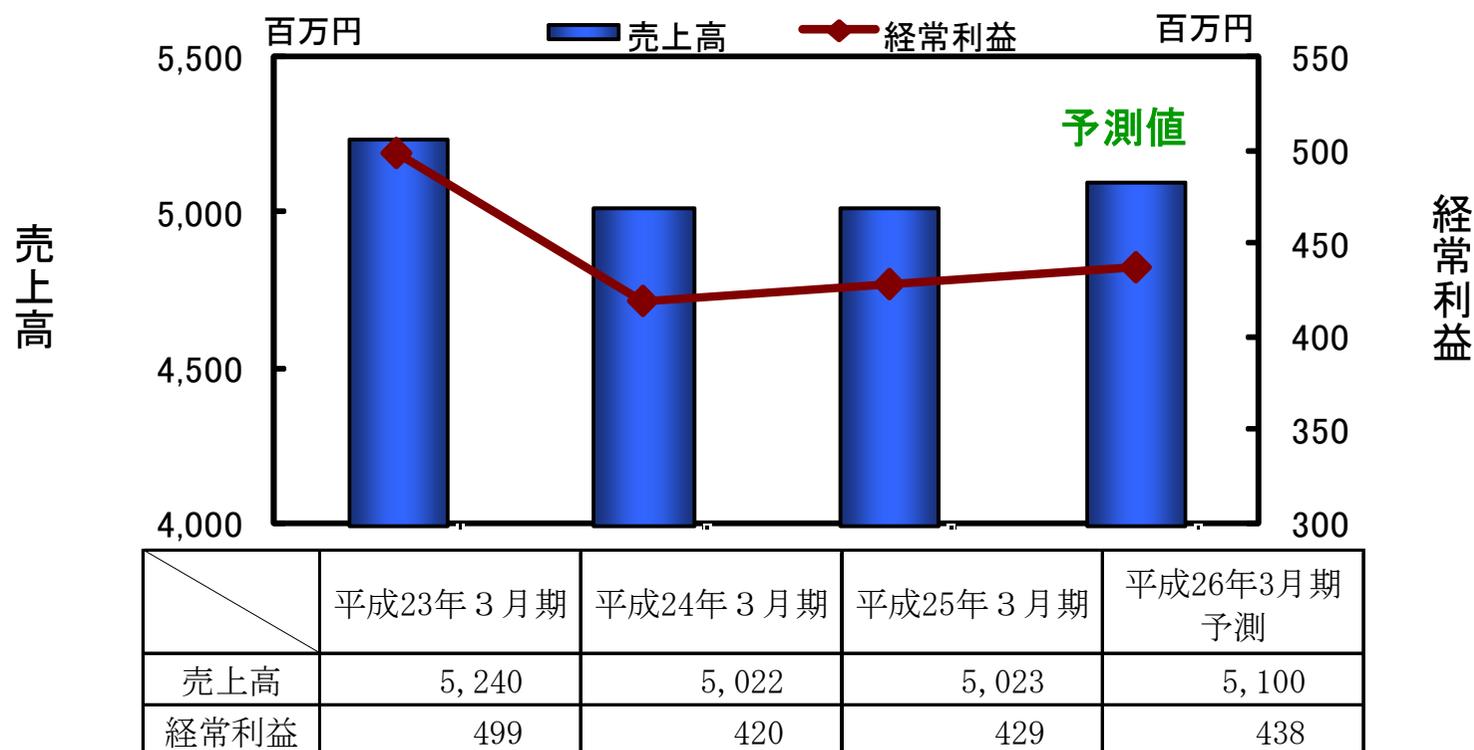


- 次期の見通しにつきましては、政権交代以降、円安、株高の進行に連れて、国内経済の景気回復の兆しが見られるとは言え、実体経済に効果が波及するかは、当面、予断を許さない状況が続くと思われまます。
- 当業界におきましては、当面、原紙価格や段ボール価格もこのまま推移すると思われまます。当社といたしましては、このような状況のもと今までにない設備投資を実施し、販売のバックアップ体制を図りたいと考えております。
- このような見通しのもと、当社の平成26年3月期の通期業績予想につきましては、売上高5,100百万円(前期比1.5%増)、営業利益439百万円(同4.8%増)、経常利益438百万円(同2.1%増)及び当期純利益249百万円(同144.3%増)を計画しております。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



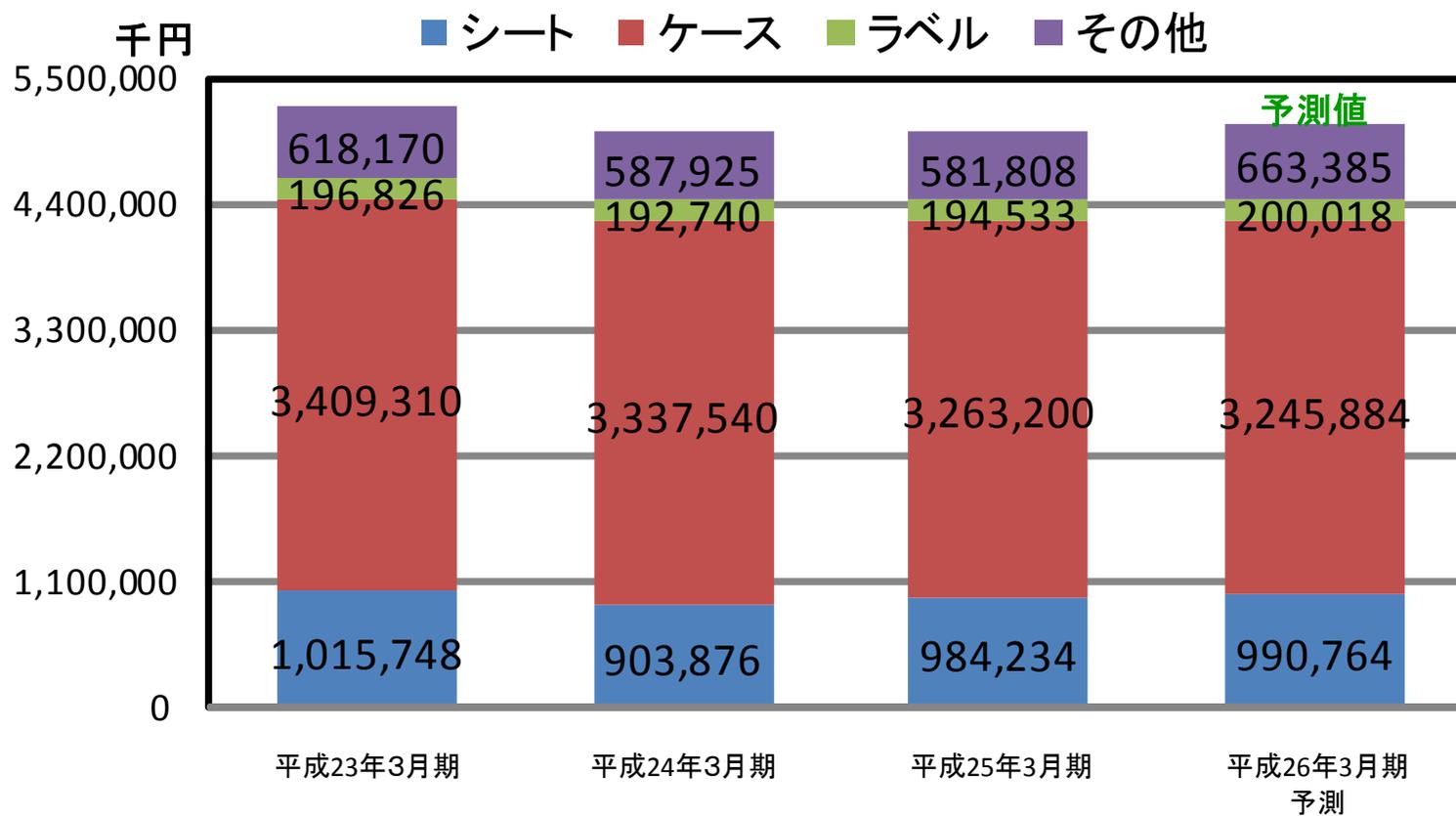
# 売上高および経常利益の見通し

※売上高5,100百万円(前期比1.5%増)、営業利益439百万円(同4.8%増)、経常利益438百万円(同2.1%増)及び当期純利益249百万円(同144.3%増)を計画しております。





# 品種別売上高の見通し





## 免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。